

naori事業について

体験者数

- 4月1日～30日 104名
- 5月1日～31日 132名

メディア出演

- PS 純金ゴールド（中京テレビ）
- サンデージャーナル（テレビ愛知）

【naoriとは】

日本で唯一、東栄町で採掘されてる化粧品原料のセリサイト(別名・組雲母)を使った、ミネラルファンデーション作り体験を中心に、「美」をテーマにした観光に取り組む事業です。



町おこしをテーマに、東海地方の様々な町おこしを紹介！
naoriは地域資源を活かした町おこしとしてPRしました。

4.22(土) 「アスナル金山」のビューティイベントに出店！

金山にある商業施設「アスナル金山」で開催されたBeauty Festalに出店して来ました。naoriの他にもカラーコーディネートやお洒落な雑貨づくりが体験出来るお店を始め、メイクレッスンや美容に関するトークショー等、20代～30代の女性をターゲットとしたイベントに多くの方が集まっていました。naoriのバスボムづくり体験には約40名の方にご参加いただき、手作りコスメの楽しさと東栄町の魅力をお伝えしてきました。

5.14(日) とうえい温泉で「母の日限定イベント」を開催！

とうえい温泉のイベントスペースをお借りして母の日に贈るバスボムづくり体験を実施しました。とうえい温泉でのイベントはnaoriとしては初ということもあり「他とは違うものを提供出来ないだろうか？」と、温泉の方と相談した結果「とうえい温泉の源泉」を使ったバスボムのレシピが完成しました！当日はとうえい温泉のメルマガを見て、わざわざ遠方から足を運んでくださった親子を始め、小さいお子様から大人の方まで、気持ちの良い天気の下、約40名もの方々に大切な人への贈り物づくりを楽しんでいただきました。



とうえい温泉で「母の日限定イベント」を開催!地元の資源を活かしたバスボム作りを楽しんでもらいました。

新しい仲間が入りました

4月1日より、地域おこし協力隊2名(福田・鎌廣)がnaori事業に新しく加わりました。今後はスタッフ3名で、より多くのレッスンや町外へのPRに対応出来るよう、体制を整えて行きたいと思っています。

鎌廣 景子 [かぎひろ けいこ]

岡崎市出身。平成29年度地域おこし協力隊として移住。naoriの体験を担当します。(写真右)

大岡 千穂 [おおか ちほ]

和歌山県出身。平成25年度地域おこし協力隊として移住。naori事業を立ち上げる。(写真中央)

福田 美幸 [ふくだ みゆき]

東京都出身。平成29年度地域おこし協力隊として移住。naoriの商品開発を担当します。(写真左)



ホームページのアクセス解析

4月に東栄町観光まちづくり協会のホームページが開設されて、2ヶ月が経ちました。

4月開設当時は訪問数14名と少数でしたが、SNSと連動させてのPR活動と、東栄町内の案内看板に当協会のホームページへ誘導するためのポスターを設置することで、4月後半にかけて訪問者数が徐々に増加してきました。今後も、東栄町の魅力を発信し多くの方に見ていただけるようなホームページにしていくように工夫をしていきます。

〈アクセス解析〉 解析期間／4月1日～30日

4月	訪問数	ページビュー数
1日	14	649
2日	16	78
3日	57	1,179
18日	175	1,381
19日	130	785
20日	154	1,000
21日	93	924
22日	24	168
23日	40	151
24日	113	759
25日	70	329
26日	45	206
27日	39	179
28日	50	468
29日	34	116
30日	25	133
合計	1,343	11,473

人気ページトップ3

- 1 コラムを読む
- 2 泊まる・温泉一覧
- 3 遊ぶ・自然

4月に中日新聞に明神山の広告が掲載されたり、5月に開催されるチーンゾーンアート大会の影響で、それに関連する記事やスポットの閲覧数が増えました！



多くの人に、ホームページを見て頂くために、そして観光客に対してダイレクトに情報が届くように、町内の施設や飲食店、案内看板などに、ポスターを貼らせて頂きました。

右のQRコードを携帯で読み取るとホームページへ簡単にアクセスできます！



第1回 コミュニティカフェ 「東栄町の川」について語り合おう

5月23日に「第1回コミュニティカフェ」が開催されました。5月の鮎釣り解禁、6月には「ホタルのさんぽ道」が開催されたりと、夏に向けて東栄町の川が活気づいていく中で「東栄町の川」をテーマに意見交換をしました。

一番多く意見が出たのが、川のゴミや景観の問題でした。「観光として東栄町の川を紹介したいけど、川が汚れているのが気になる」という問題が出ました。それに対して「有志によるクリーン作戦をしたらどうか」という意見に、「それなら、みんなで楽しみながらゴミ拾いをする工夫をしよう」と川のゴミ問題に対して前向きな意見も多数ありました。

東栄町の大切な資源である川をより美しくするにはどうしたらいいのか、改めて真剣に考える機会となりました。

